

変えよう鎌ヶ谷!市民が主役 県政通信

千葉県議会議員

岩波はつみ

発行：2024.01.20 No66 (通算)
 発行者：千葉県議会議員 岩波初美

■岩波初美事務所■

〒273-0124 鎌ヶ谷市中央 1-1-34 前田ビル 3F
 電話 047-445-5780 FAX 047-445-5790
 メール kamagaya@iwanamihatsumi.com
 活動ブログ <https://iwanamihatsumi.com>

元日の大地震を受け市の体制が気になる。元日の能登半島地震を受け、各自自治体は自らの準備は有事に対応できるか?と確認する機会となった。市民の被害状況は誰がどのように把握して、どこにまもめていくのか?その際に、誰がどのように動いて在宅避難に備えた必要な支援を提供するのか?避難所への人の誘導は誰がどのような方法で行うのか?店舗は商品をどう管理して配分するのか?寒さと感染症とライフライン喪失の状況で、全国自治体は専門人材を必要な機材を持って派遣し、その経験を積んで頂く。



鎌ヶ谷9丁目 9,900 m²開発,のどかな畑地が盛土の崖地へ

「法面勾配なだらか、擁壁は高さ長さを抑えている。景観計画上支障なし」として市は許可を

ここは鎌ヶ谷9丁目の住宅地で、1ヘクタールを超える広大なブドウ畑だった場所に宅地造成許可が下り、隣接住宅地ではのどかな景色が一変し、盛土で造ったそそり立つ崖地が出現し、この盛土の上に2階建て住宅が55戸建設される段階となっている。

1年前、何故こんな乱暴な地形変更を市は許可したのか?事業者と市が都市計画法に則り、より良好な都市環境を形成するよう開発に一定の規制をかけていくための事前協議という手順をとって許可に至ったはず。しかし、出現したのはそそり立つ長く高い垂直擁壁。

「事前協議指摘事項①擁壁の高さ長さを抑える⇒高さ長さを抑えているから○、②擁壁、法面は形態の工夫や緑化で、威圧感・圧迫感の軽減に努める⇒法面勾配をなだらかにしているから○」との判断で、景観計画上支障なしとした。法面はご覧のように垂直でなだらかではない。しかも盛土のため、地震があれば危険を感じる場合。



A-2 擁壁や法面の規模(高さ・長さ)を抑えるよう努める	<input checked="" type="checkbox"/> 高さ、長さを抑えている <input type="checkbox"/> 小段を設けている	<input checked="" type="checkbox"/> 擁壁や法面の高さや長さを抑えている。
A-3 擁壁や法面は、形態の工夫や緑化等により、威圧感や圧迫感の軽減に努める	<input checked="" type="checkbox"/> 法面勾配をなだらかにしている <input type="checkbox"/> 法面を緑化している	<input type="checkbox"/>

令和5年1月25日の鎌ヶ谷市決裁文書より

鎌ヶ谷市景観計画区域内行為事前協議について(新昭和)	
標	鎌ヶ谷市景観条例第5条第2項の規定により令和5年1月19日付けで事前協議書の提出があった下記について、同条第1項の規定により確認したところ、鎌ヶ谷市景観計画上特に支障がないため、事前協議を終了し届出を受理することとしてよろしいか伺います。
記	
1 申請者	千葉県君津市東坂田四丁目3-3 (株)新昭和 (代)松田 芳彦
2 行為の場所	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷九丁目380-1の一部他
3 行為の地区	暮らし・やすらぎ共感ゾーン(第1種住居地域)
4 行為の種類	開発行為

岩波はつみ県政報告会
お知らせ
 日時:2月11日(日)13時半~15時半
 会場:中央公民館 学習室4
 参加自由

黙って見過ごせない!【鎌ヶ谷8・7丁目 100m区間】
歩道幅 45 cm 歩行者自転車の転倒接触事故多発
【危険な狭い歩道そのままに住宅地開発が許可され進行中】



歩道幅 45 cm

3年間に8件の救急搬送 県道木下街道

この場所は命の危険個所。事故多発エリア
 皆さん、知事あて緊急提言を出して下さい。⇒



12月市議会は、地元からの歩道拡幅陳情を否決。それでも危険は現実
 救急搬送が行われた事故件数 県道木下街道100m区間(鎌ヶ谷8丁目・7丁目)

鎌ヶ谷市消防本部提供資料より 【令和3年~5年、3か年間】				
発生日	時刻	地番	場所	原因
3.04.26	11	8丁目-5	道路	ふらついて転倒
3.06.02	21	8丁目-4	道路	自転車で転倒
3.10.25	15	7丁目-4	道路	歩行中転倒
3.12.15	14	8丁目-5	道路	歩行中車と接触
4.05.31	15	8丁目-4	道路	歩行者とトラック接触
5.01.24	14	8丁目-5	道路	軽自動車とダンプカーの接触
5.02.27	9	7丁目-1	道路	自転車とトラックの接触
5.11.03	2	7丁目-4	道路	道路で歩行者つまづく

新鎌ヶ谷駅南口県有地を産業振興拠点へ 市に取得を求めよう

鎌ヶ谷市商業地の地価+4.5% 新鎌地区将来人口増と南口開発への期待

■千葉県内の地価からみる鎌ヶ谷市

不動産鑑定士協会から令和5年の地価調査結果が発表された。住宅地、利便性が高い地域では東京からの転居需要が高まり、地価が上昇しているという。駅前商業地の需要は高く、鎌ヶ谷市では新鎌ヶ谷地区商業地への発展期待があり上昇しているという。

■新鎌ヶ谷に寄せられた期待値を現実のものにするために

R5 千葉県地価調査結果より 商業地

- ・流山市の平均変動率は、R5：+8.7%
R4：+6.7%
- ・流山おおたかの森地区の商業地は、背後人口増加、商業集積等による発展期待で需要底堅く上昇率拡大。
- ・高い人口増加率、世帯数増加率が継続し、購買力増大。店舗・事務所の平均的賃料水準は横ばい乃至強含み。
- ・鎌ヶ谷市の平均変動率は、R5：+4.5%
R4：+3.1%
- ・新鎌ヶ谷地区の商業地は、背後人口の増加、新鎌ヶ谷駅南口開発事業等による発展期待がある。

鎌ヶ谷市の地価をけん引するのは、新鎌ヶ谷地区周辺区域の活用だ。

住宅地が駅周辺に形成されると商業地としての収益力が出てくる。既設店舗の収益には人口増は必須。

加えて南口開発の肝になるのが、残る2つの県有地の活用となる。勝手な理想図を作り示した。三角地には産業ビルを傾斜地には歩行者広場が欲しい。市が県有地を取得して、駅前開発のビジョンを持って実現させるよう市民は求めている。

新鎌ヶ谷駅南口勝手な理想図 作成：アート&デザインタッグ合同会社



県有地 560 m²
三角地形

児童養護施設(松戸市内)を県議らで訪問

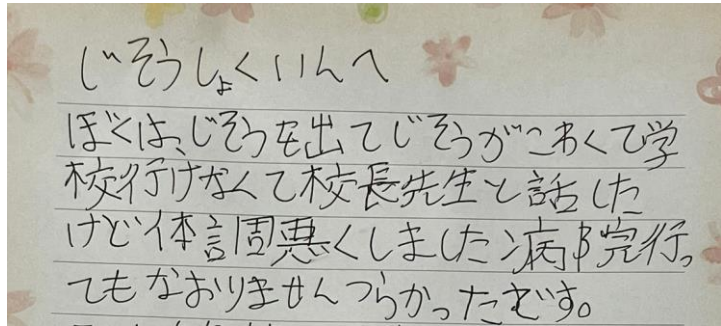
150万人有する6市で子どものショートステイはわずか8床

以前から訪問の機会を得ようとうかがってきたが、ようやく1月10日その願いが叶い、松戸市に平成21年から開設している晴香園(定員40名)を県議4名で訪問した。園は6市(野田、流山、柏、我孫子、松戸、鎌ヶ谷)と協定して、8床のショートステイ枠を有している。高齢者では一般的なショートステイが子ども向けにはわずかしか用意できておらず、全く足りないという。今は松戸市のみ、里親さんにショートステイを委託することで、園の8床を有効に使う工夫をしている。是非当市も続いて欲しい。園は児相の指示で動き、ここから自宅に復帰しているお子さんは年一人いるかいけないかという。



今年も子どもたちの声を集めていきます

国際機関へ通報不可。人権は尊重も救済もされていない日本



2023年
12月24日
小学生手紙

● 児童相談所が怖すぎると、海外にまで避難する家族出現

日本国のいずれの政府機関も管理監督することのない、治外法権的組織が児童相談所である。身に覚えのないことで分離された親と子は、その理由を説明されることはなく、独自調査では、93%が親子の面会が制限され、60%は手紙やプレゼントを渡すことが全くなかった。こうして家族が元に戻ることは困難を極める。

権利を侵害され、国内法での救済がされなかった場合、個人が条約機関に訴えることのできる「個人通報制度」があるが、日本ではそれを実施する法制度がない。G7では日本のみ不可。口々に「児相が怖すぎ」と親子は言い、子が戻った後、海外に避難して身を隠して生活している家族もいる。今年の私の行動課題のひとつ。

岩波初美(イワナミ ハツミ)経歴

- 1959年(昭和34年)山梨県生まれ 鎌ヶ谷1丁目在住
- 夫・夫の母・子ども3人・孫4人(岐阜県/大阪府在住)
- 千葉大学教育学部卒業、千葉工業大学大学院修士課程修了。
- 大学卒業後、生活協同組合職員8年、鎌ヶ谷市議会議員4期。NPO法人役員、会社役員を経て、アクアライン800円提言・実現。千葉工業大学特別講義講師11年間務める。鎌ヶ谷市長選挙に3回挑戦。
- 現在 2019年4月より千葉県議会議員、知的障がい者グループホーム職員、NPO法人元気になろう福島理事、児相と親子の架け橋千葉の会世話人、児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会代表